



新たな地域の拠点として 野塚地区ふれあい交流館 完成見学会

積丹産カラマツを使い、「木の良さ」と「木材の地産地消」の町のPRを兼ねた木造公共施設・野塚地区ふれあい交流館の完成見学会が1月31日催されました。

施設名 野塚地区ふれあい交流館
 延床面積 283㎡
 構造 木造軸組工法 平屋建
 木材使用量 約79立方メートル
 (積丹産カラマツなど)



集会室



研修室

国の森林・林業再生プランの推進による補助金や辺地対策事業債などを財源に、昨年8月から工事が進められていたふれあい交流館は、昨年末に建物が完成し、道の検査などを経てこの日の見学会の開催となり、沓澤道林務局長、後志管内選出の3人の道議会議員や町議会議員、町内外の林業・建設業関係者、地域住民など120人が参加して行われました。

松井町長が「積丹産カラマツを使用して建設されたふれあい交流館を、地域の様々な活動の拠点施設として利用していただき、地域活性化に役立てていただきたい。」と挨拶をした後、ふれあい交流館の建設にあたって

地域材を使用した経済波及効果についての林産試験場の研究職員による講演や施設の見学などが行われました。

また、野塚町の皆さんによる神楽の披露や、町内会と婦人会が用意したゴツゴ汁やすり身汁などが振る舞われ、建物の完成を祝いました。



厳しい潮風に耐えた

“積丹カラマツ” の人気をご存知ですか！

町内での森林づくりへの取り組みをしている(株)新宮商行(本社・小樽市)は、美国町から婦美町にかけてカラマツなどの社有林328ヘクタールを有しており、そこから切り出されるカラマツの一部は、同社銭函工場で木製窓や外壁材などにして加工、販売されています。(写真：上)



また、飛騨産業(株)北海道工場(三笠市)では、新宮商行から産出したカラマツ材を使用して、テーブルやソファなどの制作がされており「北海道物語・積丹」の製品名で販売されています。(写真：左)



両社の製品は、60年生以上の積丹カラマツだけが持つ、木目の美しさ、独特の赤みや小節の特性を生かした仕上がりとなっています。

(写真：完成見学会での展示品)

寒さを忘れ「冬の積丹」を満喫!

2012 しゃこたん夢あかり
今年も力作が勢ぞろい!

今年で第9回目となる積丹町商工会(山本俊三会長)主催の「しゃこたん夢あかり」が2月11日に開催されました。

今年も、メイン会場や各家庭、事業所などで、人気アニメのキャラクターや滑り台など、趣向を



凝らした雪像やスノーキャンダルが飾られ、暖かな優しい光が町を包み、また、美国町の中央交差点のメイン会場では、同会女性部が甘酒を無料で提供したほか、同会青年部が特設会場を設け、ビールやおでん、唐揚げなどを販売し、イベントを盛り上げました。



練伝習館

ヤマシメ番屋では・・・

やん集小道づくり推進協議会(成田静宏会長)が主催する「こども縁日」も同日行われ、大勢の子どもたちが縁日を楽しみました。

射的やくじ、型抜きに何度も列に並び挑戦する子どもたちで、用意された360回分はわずか1時間でなくなるほどの盛況振りでした。

どっこい積丹冬の陣「第2弾」
歌謡ショーに酔いしれて・・・

どっこい積丹冬の陣「鍋の競演」に続く第2弾として、「ミニ歌謡ショー」(佐藤勝次実行委員長)が岬の湯しゃこたんを会場に開催され、観光バスツアーや一般の入浴客らで賑わいを見せました。

2月11日、18日、25日の3日間にわたって行われたミニ歌謡ショーでは、武山あきよさん、ちはらさきさん、近江亜矢さんがそれぞれ来場。迫力あるプロの歌唱力に会場は熱気と歓声に包まれました。

また、当日は、積丹産の岩のりを使用したほっけのすりみ汁

が無料で振舞われ、心も体も温まる歌謡ショーとなりました。



同実行委員会では、3月17日にもミニ歌謡ショーを同会場で開催予定です。

